

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第76回 ビジネス文書実務検定試験 (8.7.5)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. フォントの種類は明朝体とすること。
- c. プロポーションナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

- 1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
- 2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
- 3. 長音は必ず長音記号を用いること。
- 4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
- 5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
- 6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受 験 番 号

第76回 ビジネス文書実務検定試験

(8.7.5)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

近年、香りを活用した販売活動が注目されている。嗅覚は、私た	30
ちの記憶や感情と密接に結び付いており、無意識でも行動に影響を	60
与えるといわれている。パン屋からの焼き立ての匂いに誘われ、思	90
わず入ってしまうのはその一例だ。	107
あるホテルでは、リピーターになりやすい家族層をターゲットと	137
し、独自のアロマを導入した。館内に漂う香りにより、日常を忘れ	167
させる空間が演出され、顧客はリラックスできる。その結果、全体	197
に占める家族層の割合が20%以上も増加したという。	223
人は心地良い香りを感じると、店舗での滞在時間が延びることが	253
研究により証明されている。そのため、ある企業は、50種類以上	283
もの香料成分を調合し、店舗に合ったアロマを提供している。商品	313
とイメージが合致すれば顧客の購買意欲が高まるため、契約を結ぶ	343
企業も多い。	350
現代は、視覚や聴覚に訴える広告がありふれている。香りを活用	380
した販売活動は、他社との差別化につながり、企業の価値を高める	410
効果も期待されている。今後はブランディングの一つとして、ロゴ	440
やBGMのように一般的になることだろう。	460